室圧監視向けデジタル表示微差圧指示計　Daiko エア温シリーズ

自照式表示
0.1Pa単位
正負圧確認
ドア上設置
電流出力※
※表示のみモデルと、出力付きモデルの2種類

廊下　病室

自照式微差圧表示を入室前に設置して、部屋内の状態確認を素早く簡単にします

●室圧監視時の微小な圧力差を分かり易く表示
●0.0Pa付近の正圧、負圧を正確に確認
●自照式表示で暗い廊下でも視認性良好
●計装信号出力で、上位監視やインバーター制御可能
●ドア上への設置で通路の邪魔にならない
●表示の反応速度変更機能付き

大興電気株式会社　本社:大阪市北区西天満　www.daikodenki.co.jp　尼崎工場:兵庫県尼崎市大庄北5-1-6　TEL06-6417-8581　FAX06-6417-8586

知恵と勢いで役に立つ提案型の専門商社

バルブ・自動弁・管機材・空調・住設機器　総合卸
安藤株式会社
本社　〒550-0013 大阪市西区新町4丁目9番20号　TEL(06)6538-3441(大代表)　FAX(06)6538-3450
岡山　〒701-0165 岡山市北区大内田761番地2 岡山県総合流通センター　TEL(086)292-5050(代表)　FAX(086)292-5054

安藤 知恵と勢いの提案型商社

省施工と感染症対策 有望な商品情報発信

管工機材の総合卸・流体制御機器専門商社の安藤（社長＝安藤康雄氏、本社・大阪市西区新町4－9－20）はバルブ、フレキ、計器類など配管付属品や、蒸気減圧弁や流量計などの熱管理機器の卸売業を主業とする一方、管材商社の中では比較的空調分野の高機能部品・部材の取り扱い量が多い。これらの空調関連商材を大手総（設備業者、二次卸業者、販売店）などに多様な手法で売り込み、各商材をキラリと光らせる提案型の専門商社」を社是とし、取扱商品を実販につなげる販売力を備える。同社は今年度「省施工」「感染症対策」といった時節のテーマに即し、空調業界でトレンドを形成しそうな有望商品の情報発信を強化している。透明保温構造採用のドレントラップや室圧監視に役立てる微差圧指示計の市場普及に手応えを得ているようだ。

安藤　晴重常務

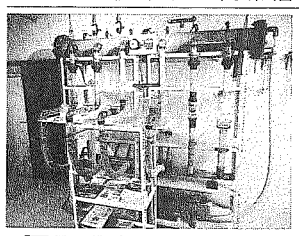
奥西　卓生部長

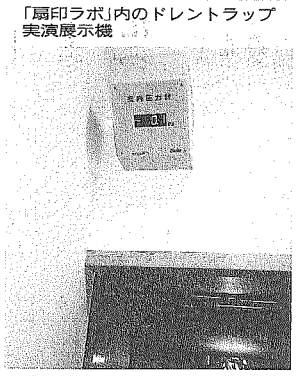
同社は空調関連ではドレントラップの商品知識が豊富。各メーカー品の性能・機能、さらに実使用時の長所や短所といった特性を把握している。安藤晴重常務は「本社の空調設備関連部材実験室兼展示室『扇印ラボ』に実演展示機を保有し、お客さまにもドレントラップの各メーカー特性を見える形で示し、実際の使用状況を直接ご確認頂ける場を設けている」と話す。ドレントラップの中でも安藤が特に提案営業の中で販売量を伸ばしているのが透明保温構造採用の小型空調機用ドレントラップ「C・トラップ保温型」（コンドーFRP工業製）。同商品は在来モデルに透明の結露防止層を新たに設けたもの。ドレン配管施工時に結露対策の保温工事が不要になるほか、内部汚れの目視確認が容易になり、ドレンパンや配管の清掃時機を判断しやすくなる。透明の結露防止層付きドレントラップは市場でオンリーワンの商品。

安藤は製造元のコンドーFRP工業の販売パートナーとして同商品の拡販に貢献している。日ごろから大手サブコンや施工現場、さらには仕入れ先のメーカーに出向いており、営業活動で多様なニーズとシーズを吸収している。こうした活動の中で、ドレン配管施工時の保温工事が手間を要するとの声が上がっていたことをキャッチアップした。現場の声を受け止めてコンドーFRP工業が商品開発に取り組み、昨年発売されたのが「C・トラップ保温型」だ。発売以来、安藤とコンドーFRP工業との製販連携した訴求を通して同商品は販売個数を伸ばしている。

ただ同商品をドレン配管用結露防止層付き硬質塩化ビニル管に接続する際に必要となる継手部分には、断熱材が必要になり、結果的に、継ぎ手部分の簡易な断熱処理は保温テープの巻き付けなどで配管施工業者が行わなければならない不具合があることも現場の声として持ち上がった。この声にコンドーFRP工業はいち早く対応。同社は「C・トラップ保温型」に継手部専用の断熱材を標準装備して発売することを決めた。これによりドレン配管とドレントラップを接続するすべての系統が省施工で保温でき、施工品質が向上。しかも配管施工業者の省施工に貢献できるという。専用断熱材を同梱したバージョンアップ版の「C・トラップ保温型」は来春発売予定。大手サブコンや地場サブコン、配管工事会社など広範な商流を持つ安藤が販売面で全面的に支援していく。

今年の時流テーマでもある「感染症対策」を下支えするオンリーワン商品の注目度も上がってきた。安藤は大興電気製の「微差圧指示計」の販売総代理店を務めている。同商品は医療施設の手術室や隔離病棟などで感染源の拡散を抑える目的で設置される陰圧室での微差圧状態情報をデジタル表示できる指示計。医療従事者や施設管理者がBCRに入室する前後の微差圧状態を確認した上で入退室でき、院内感染リスクを減らすため、医療施設で採用実績を徐々に積み上がっている。


「扇印ラボ」内のドレントラップ実演展示機


微差圧指示計の設置例（扇印ラボ内）

同商品がこのほど、高度先端医療と感染症対策の両立を目的に京都大学医学部附属病院（京大病院）が公募したクラウドファンディングによる手術室の陰圧化プロジェクトで採用され、販売元の安藤から現場施工に携わる大手サブコン経由で現場に納入された。京大病院に対しては以前から同指示計の納入実績があったが、時節柄、京大病院での陰圧室モデル事例が医療業界で広がれば、全国の医療施設で同指示計の採用が拡大する可能性がある。

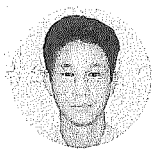
こうしたニーズとシーズのマッチングにも、管材商社の安藤が裏方で一役買っている姿が裏映りする。営業部の奥西卓生部長は「当社は市場に出した商品に対して再度ニーズを吸い上げ、ニーズに対して熱い思いで対応する。そんな商社でありたい」と力を込めた。

大興電気 2020関西地区空調・冷熱 秋季特集

微差圧を測定・監視する指示計 医療施設の陰圧室でニーズ浮上

電気計装機器・制御盤設計・製作の大興電気（社長＝増田昌幸氏、本社・大阪市北区西天満6－1－17）は、本業の制御盤製造の延長線上で空調機周りを含む多様な制御盤設計・製造・施工・保守サービス業務を手掛けている。また病院のバイオロジカルクリーンルーム（BCR）や陰圧室など、室圧管理区域の微差圧状態を測定して室圧監視に役立てる微差圧指示計も6年前に製品化し、ラインアップ。同微差圧指示計が医療施設の陰圧室向けに設置される事例が今年に入って出始めている。

増田　昌幸社長


荻内　國雄氏

病院の手術室や陰圧室では、院内感染防止の観点から感染源の拡散を抑える目的で、BCR内外の微差圧状態を監視したり、調整したりする特殊空調を施すことが基本。こうした現場で微差圧状態を常時監視する目的でも、同社製の微差圧指示計が役立てられている。現在、愛知県内や京都府内など複数の病院で導入事例がある。

BCR内に設置したセンサー部で室内の微差圧を測定し、BCR入り口上部壁面に設置された表示部で微差圧状態の情報をデジタル表示する仕組み。医療従事者や施設管理者がBCRに入室する前後の出入り口で、内部の微差圧状態を確認した上で入退室できる。これにより院内感染のリスク低減につながる。センサー部には高精度微差圧センサーを搭載。0・1㌪単位の微差圧状態を表示部に表示することができる。ゼロ点付近での圧力差を管理したいというシビアな室圧監視に使える。信号出力機能によって、同微差圧計で得た情報を中央監視機下の設備管理や空調機の個別制御に連携可能な機種も同社はラインアップしている。

接続時の専用断熱材 C・トラップ保温型に同梱

コンドーFRP工業 結露防止層付き硬質塩ビ管

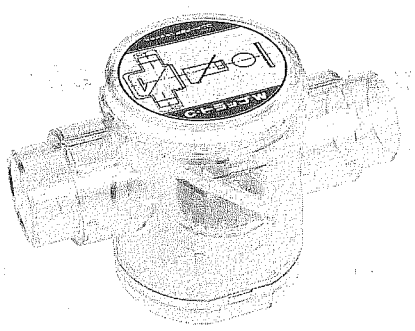
コンドーFRP工業（社長＝近藤太郎氏、本社・大阪市北区本庄西3－9－15）は、小型空調機用ドレントラップ「C・トラップ保温型」にドレン配管用結露防止層付き硬質塩ビ管を接続する際に必要となる専用断熱材を同梱し、来春をメドに出荷を始める。

C・トラップ保温型にドレン配管用結露防止層付硬質塩ビ管を接続する場合には結露防止層のない従来の継手を用いるが、この時、従来の継ぎ手部分に断熱材が必要となる。そこで同社は、施工現場で、この継ぎ手部分だけのために断熱材を手配する手間を省くため、専用サイズの断熱材を同梱して出荷することを不要にしたもので、昨年8月20日付で発売している。透明の結露防止層を設けた二重構造としたことで保温施工を不要にした。従来はトラップとドレンパイプ全体を断熱材で包み込むためトラップ内部の汚れを目視確認できなかったが、同保温型は透明なのでトラップ内部の汚れをスムーズに確認できる。これにより、ドレンパン、配管などの清掃時期を容易に判断できるようになった。

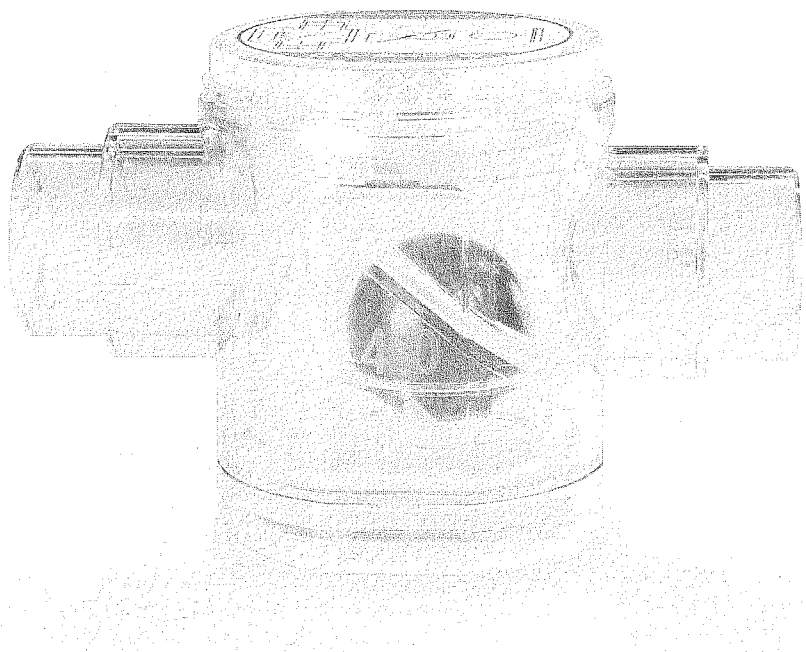
今年に入って同保温型は、結露対策が課題となっている製氷機ドレン排水のトラップに採用され、堅調に実績を伸ばしている。これにより低温機器の需要開拓にも道が開けてきた。

C・トラップ保温型は接続口径25AのF－CTW25（税別標準価格1万5千円・入数30）、同30AのF－CTW30（同1万6千500円・同30）、同40AのF－CTW40（同1万9千500円・同20）、同50AのF－CTW50（同2万3千円・同20）の4種類。結露防止性能は流入水温15℃の時、雰囲気温度／湿度30℃／75％、流入水温10℃の時、雰囲気温度／湿度30℃／70％。

建築物の空調設備では室内の空気質環境を維持するため、排水管を通じて汚染空気や臭気、害虫の侵入などを防ぐ措置が必要となり、排水管に封水を利用したドレントラップを設置するのが一般的。コンドーFRP工業は、そうした市場ニーズに対応して独自のフロートボール式ドレントラップ「A・トラップ」、「C・トラップ」を商品化・市場に投入し、ドレントラップの分野で高シェアを確保している。


C・トラップ保温型

透明保温※で保温施工が変わる。

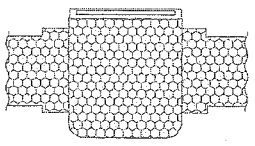


KFK コンドーFRP工業株式会社

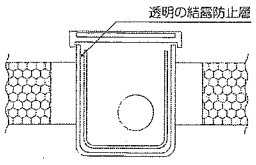
保温施工が不要
内部の汚れの確認が容易

C・トラップ保温型　型式 F-CTW 25/30/40/50

従来は…
保温施工をした場合
内部の汚れが目視できませんでした



C・トラップ保温型では…
二重構造で結露を防止



※コンドーFRP工業が独自に開発した透明の結露防止層で、国際特許出願中の技術です。

コンドーFRP工業株式会社
本社　〒531-0073 大阪市北区本庄西3丁目9番15号
TEL.06-6376-0810　FAX.06-6376-0819
http://www.kondoh-frp.co.jp
コンドーFRP　検索